

東日本・家族応援プロジェクト in 多賀城 2021

団士郎家族漫画展&家族応援プログラム

東日本大震災を受け、2011年プロジェクトとしてスタートした「東日本・家族応援プロジェクト」は東北4県を巡り、被災と復興の証人になることを目指しています。10年の活動もいよいよ最終年を迎え、家族をテーマに描いた作品「団士郎家族漫画展」、家族応援プログラムとして「団士郎漫画トーク」「遊びのワークショップ」を開催いたします。お楽しみに！！

無料

会場 **多賀城市立図書館** (JR仙石線多賀城駅北口)

お問合せ：多賀城市立図書館 TEL.022-368-6226

団士郎家族漫画展

9/16(木) - 10/5(火)



■場所：A棟 2階 西側共有スペース



人々の生活の中にいろいろな想いがあふれている当たり前の家族の日常(実話)を題材にした漫画「木陰の物語」をお届けします。「この気持ちわかる、わかる!」「私にもこんなことがあったなあ」「そうか、うちの親もこんな気持ちだったのか」などなど。どうぞゆっくりご覧ください。

団士郎
立命館大学客員教授
家族心理臨床家
漫画家

※おことわり
新型コロナウイルスの感染拡大を受け、催しが急に中止になることがあります。ご理解とご了承賜りますようお願いいたします。

10/2(土)

入退場自由

時間：10:00～11:30

♪ワークショップ
うたとおはなしと
伝承遊びを楽しもう
■場所：1階 キッズライブラリー
よみきかせの部屋

ふるさとの民話・絵本・お手玉などの伝承遊びの世界をみんなで楽しみましょう。小さなお子さまも一緒に、親子で楽しいひとときを過ごしましょう。

- ◆10:00～10:30
「ふるさとの民話と手遊びうた」
多賀城民話の会
- ◆10:30～11:00
「絵本とパープサート」
おおぞら保育園
- ◆11:00～11:30
「お手玉のうたと遊び」
鶴野 祐介(立命館大学教授)
おおぞら保育園



時間：14:00～15:30

♪団士郎の漫画トーク

■場所：1階 住まいの部屋



9月15日より1階カウンター
で事前受付開始
定員：20名

講師 団士郎プロフィール
家族心理臨床家・漫画家・立命館大学客員教授
公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。
「仕事場D・A・N」主宰。漫画家でもあり、「かぞくのじかん」(婦人之友社)ほか
雑誌に「木陰の物語」連載中。マンガ集団「ぼむ」同人、web雑誌「対人援助
マガジン」編集長

～講師からのメッセージ～
「被災から復興する街に新たな木陰の物語がたくさん生まれることを願って10年が過ぎました。家族は上手いかなさを抱えながら、活路を模索し、見出すのも醍醐味だと思います。活動最終年を迎えた今の気持ちなどをお話したいと思います。」

主催：立命館大学大学院人間科学研究科 共催：多賀城市立図書館
協力：おおぞら保育園・多賀城民話の会